

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.103 2003.6.5

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel: 03-3704-9168 Fax: 03-3704-9246 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会 第19回年会

参加申込み受付中 (事前参加受付 7月31日まで)

第19回年会開催にあたり、多数の方にご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。多くの研究発表申込みありがとうございました。Newsletter101・102でご案内のとおり、本年度の年会は、大阪府教育委員会の後援をいただき、8月9日(土)・10日(日)の両日、大阪学院大学を会場に開催いたします。「ブロードバンド時代の学校教育」をテーマとしたシンポジウムをはじめ、3つの課題研究と多くの一般研究発表など多彩な発表が行われる予定です。

参加お申込みにつきましては、下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2003年8月9日(土)・10日(日)

後 援 大阪府教育委員会

会 場 大阪学院大学

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

Tel (06)6381-8434 (代表) URL www.osaka-gu.ac.jp

交通: JR「岸辺」駅(新大阪駅から8分)または阪急「正雀」駅(梅田駅から22分)から徒歩5分

事務局 大阪学院大学経済学部白川研究室内

日本教育情報学会第19回年会実行委員会

スケジュール

8月9日(土) 1日目		8月10日(日) 2日目	
9:30 10:00~12:00	受付開始 シンポジウム 「ブロードバンド時代の 学校教育」	9:30 10:00~12:00	受付開始 [午前の部] 課題研究発表 一般研究発表
12:00~13:00	昼食・休憩 (理事会・評議員会)	12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:00	総会・学会賞表彰式	13:00~17:00	[午後の部] 課題研究発表 一般研究発表
14:00~17:00	[午後の部] 課題研究発表 一般研究発表		
18:00~	懇親会		

懇親会会場：大阪学院大学 17号棟

昼食は大阪学院大学学生食堂が利用できます(臨時営業)。

(1) シンポジウム

テーマ 「ブロードバンド時代の学校教育」

[趣旨] 日本教育情報学会は、教育と情報に関する学会です。この教育と情報の関係は車の両輪のごとく、無くてはならないものですが、その時々において、重点の移し方を変化させてきました。昨年の山口大会では、林徳治先生が、教育に重点を置かれ、すばらしい年会を開催していただきました。それを受けて、本年の第19回年会においては、少し情報に重点を置いてみようと思います。

このように情報に重点を置こうというのは、政府のミレニアム・プロジェクトにより開始され、さらに「e-Japan」計画に引き継がれた学校の情報化は、2001年にすべての公立学校がインターネットにアクセスでき、2003年には校内LANが設置され、2005年には、すべての教室からインターネットにアクセスできるという教育環境が実現されます。しかしながら、こうしたハードウェアの発展に対して、そのような設備をいかに教育に活かすかという広い意味でのソフトウェアは、まだまだはっきりしていません。同じく「e-Japan」計画には、「2005年までに学習資源のデジタル化と学校導入」が謳われていますが、その具体的な動きは、まだ全体としては見えていません。ハードの着実な導入に比べ、ソフトはもう一つな面があるといえます。

2003年の日本教育情報学会の第19回年会は、こうした状況に対応して、進んだ教育環境をいかにして活用するかに焦点を当て、「ブロードバンド時代の学校教育」について考えようと思います。

このためシンポジウムでは、コンピュータを学校教育に活かしている先進事例を紹介したいと思います。具体的には、関西学院大学と手前みそになりますが、本学、大阪学院大学、小学校では追手門学院小学校が、あげられます。それぞれの学校で実際に学校情報化の推進にあっている担当者にお話を聞き、それについての質疑応答をおこないます。どうぞ、ふるってご参加ください。

[基調講演] 中條道雄(関西学院大学 教授)

[コーディネータ] 白川雄三(大阪学院大学 教授)

[パネリスト] 高橋 誠(大阪学院大学 課長代理)

竹内豊一(追手門学院小学校 教諭)

[コメンテータ] 西村慶一(大阪学院大学 教授)

(2) 課題研究テーマ

課題1. 「e-ラーニング」

ブロードバンドが普及するにつれて、VOD (Video-on-Demand) によるデジタル動画コンテンツの配信等や、WBT (Web Based Training) システムやインタラクティブな Web 教材を利用した新しい教育システム、いわゆる「e-ラーニング」が普及し始めている。専門学校教育や、大学教育にも取り入れられ始めている。こうした新しいシステムの特質について議論し、現在までの遠隔教育との相違を明らかにし、今後の発展について検討したい。

課題2. 「校内ネットワークの活用・情報共有」

校内ネットワークが施設されるとともに、ネットワークの利用と情報の共有について検討をされなければならない。教師の知恵を共有する道具としてのナレッジマネジメントの必要性についても考えたい。今はその場で消えていってしまっている知識、技能、判断、ノウハウ、人物など様々な情報のDBを構築することについて議論したい。さらに学校用グループウェアやデジタルポートフォリオの利用、情報の安全性などについても検討したい。

課題3. 「情報教育と総合的な学習」

総合的な学習元年を間近に控え、現場ではカリキュラムや評価、メディアリテラシーや小学校における英語活動など、実践的な課題が取り上げられてきている。これらの課題を情報活用能力とかがかわらせながら議論していきたい。

(3) 一般研究発表

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 遠隔教育・テレビ会議 | (4) 授業実践 |
| (2) インターネット利用 | (5) 教育支援, 教員研修 |
| (3) 教材開発 | |

(4) 発表の申込み

発表申込者には、発表の可否を連絡します。

発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。

論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

発表申込み期間は過ぎていますが、これからでも発表申込みができるセッションがあります。
ご希望の方は、年会実行委員会に至急お問合せください。

5月10日までに申込みを受付けている発表(講演者・題目)は、4~6ページのとおりです。本リストは案で、発表者の追加・キャンセルなどでセッション・発表順が多少変更になる場合がございます。最終プログラムは次号 Newsletter でお知らせいたします。

課題1 e-Learning		8月9日(土) 午後の部
宮田 仁	滋賀大学教育学部	2画面シンクロ再生機能をもつVOD対応ティーチングポートフォリオを活用した教師教育用e-ラーニング教材の開発
長谷川元洋	金城学院大学	TV会議システムを利用した遠隔教育実習
高原尚志	富士常葉大学	「環境」をテーマとしたe-Learningによる高大連携教育
谷口知司	岐阜女子大学文化情報研究センター	高等教育における講義, 演習, 参加型を統合したオンラインコースの開発と運用
大西慶一	大阪女子短期大学	時系列動画データ収集のための映像系システム構築に関する考察
加藤直樹	岐阜大学総合情報メディアセンター	高等教育におけるメディア統合型のLMSの開発(1)

課題2 校内ネットワークの活用・情報共有		8月9日(土) 午後の部
上水流信秀	系貫中学校	グループウェアの利用を中核とする校内LANの有効利用
荒川信行	品川区立三木小学校	児童の自己学習力を高める協働支援体制とコミュニケーションネットワーク
小山幸治	中部大学経営情報学部	XMLを用いたマルチメディア教材作成オーサリングシステムの開発について
加藤 謙	岐阜大学・NEDO 養成技術者	教師の複数地区勤務を可能とする支援システムの機能分析
北原俊一	十文字学園女子大学 社会情報学部	Webデータベースを利用した学生情報の有効利用

課題3 情報教育と総合的な学習		8月10日(日) 午前の部
原 和久	千里国際学園	ホームページを活用した授業情報一元化の試み
浅井和行	京都教育大学	生活科・総合的学習におけるポートフォリオの継続性
野末俊比古	青山学院大学文学部	問題解決学習の技能の構造に関する考察
孫 暁萌	京都大学大学院情報学 研究科	- 「情報科」と「総合的な学習の時間」を比較して - 環境教育のためのインターネット利用教材作成法に関する研究 - 酸性雨をテーマとした高校化学の実践授業を例として -

遠隔教育・テレビ会議		8月9日(土) 午後の部
三宅芭巳	岐阜女子大学	テレビ会議システムを用いた文化交流会の実施とその課題
三輪眞木子	メディア教育開発センター	米国の教員養成大学における遠隔教育とその支援システムの事例研究
鎌本京子	樟蔭東女子短期大学	短期大学生によるCATV番組作成指導について
五藤政志	岐阜県羽島郡岐南町立 岐南中学校	地域イントラネットを用いたテレビ会議システムの教育利用
成瀬喜則	富山商船高等専門学校	地域理解を目的とした外国とのテレビ会議交流学習
宮地功	岡山理科大学総合情報 学部	テレビ会議交流を利用した卒業研究に関するプレゼンテーションによる効果 - 大学生の変容について -
米田謙三	羽衣学園高等学校	ハイスクールハザードマップ High School Hazard Map Project 「高校生の安全意識国際比較調査と安全対策 新世紀型犯罪に巻き込まれないために」

インターネット利用(1)		8月10日(日) 午前の部
山田信雄	岐阜県各務原市立鷺沼 第一小学校	インターネットを利用した情報収集の効率化 ~ アクセスログ解析とWebの特色を生かした全国レベルの調査 ~
川端裕志	滋賀県大津市立田上小 学校	児童と現職教員の情報活用能力に関する研究(2) - 教員の情報活用能力及び教員の学校Webページ上での発信経験が児童の情報活用能力に及ぼす影響 -
角田真二	十文字学園女子大学	電子メールの到達過程の可視化に関する考察

楓 森博	岐阜女子大学	遠隔教育におけるメンターの役割およびメンター養成プログラムの開発
神月紀輔	滋賀大学教育学部付属 教育実践総合センター	中学校数学教員を対象としたWebベースの教育実践支援交流システムの開発と評価(3)
加藤直樹	岐阜大学総合情報メディアセンター	教育情報データベースSIS-TEM の開発(2) ～学習プリントの管理と提供～
渡辺昌介	武蔵野情報学園大	電子データの保存およびデータベース化と検索
末松 美樹	岐阜大学大学院教育学 研究科	教育情報データベースSIS-TEM を中心とした教育情報管理モデルの検討

インターネット利用(2)

8月10日(日) 午後の部

風間瑞穂	早稲田大学国際情報 通信研究センター	インターネットを利用したオンデマンド講義コンテンツの制作
中川準治	大阪学院大学	CALL教室における専門教育について
阿久津 進	埼玉県越谷市越ヶ谷 小学校	Webを利用した小学校における共同学習環境
久保昌司	箕面市教育センター	教育用コンテンツの活用 - EduMart構想実証実験, eまちづくりを通して -
藤村昭文	関西経理専門学校	専門学校におけるLinuxサーバーを使用したグループウェア
石原淳行	関西経理専門学校	実践教育としてのコンピュータ簿記
Bert Kimura	University of Hawaii	The TCC Online Conference: Faculty Sharing Information about eLearning Globally
中島幸治	大阪学院大学	DSSによる教育支援について
白川雄三	大阪学院大学	Caddieシステムの現状と問題点

教材開発

8月10日(日)

午後の部

塩見知利	平安女学院大学短期大 学部	幼児のイメージ支援学習システムとそれに伴う教材開発
福井正康	福山平成大学経営学部	社会システム分析教育用ソフトウェア Collge Analysis
岡村吉永	山口大学教育学部	技能情報を加えた習字教材とその効果
本郷 健	川村学園女子大学	分散処理モデルを利用したシミュレーション教材の開発
林 徳治	山口大学	パキスタンにおける遠隔学習用マルチメディアCD教材の開発・評価
矢野口 聡	文教学院大学情報教育 センター	SOHOネットワーク教育支援コンテンツの開発
松本宗久	大阪学院大学高等学校	新教科「情報」における問題解決の力量を問う問題の作成と検証
松本宗久	大阪学院大学高等学校	ハワイ州の中高等学校における情報教育の現状
黒川マキ	大阪学院大学	遠隔学習環境における教授者の役割 - 学習者の気づきの引き出し -
三島寿美子	岐阜県美濃市立下牧小 学校	身近な地域の川についてのデータベースの開発
浅野哲男	岐阜大学大学院教育学研究科カリキュラム開発 専攻, 岐阜県安八郡輪之内町立仁木小学校教諭	情報活用の実践力の育成をめざした技能認定の開発について
槇山美也子	高知県高知市立横内小 学校	コンピュータを活用した図画工作科における鑑賞教材の開発

授業実践(1)

8月10日(日) 午前の部

大西慶一	大阪女子短期大学	学生の健康状態及び学習意欲と達成感に関する実証分析 - 自己評価を活用したパネル分析 -
------	----------	---

橋本恵子	筑紫女学園大学	コンテストの導入による日本語表現力の育成を目指した授業実践 - デジタル表現部門の学生を中心に -
渡辺寛二	大阪電気通信大学短期 大学部	問題解決能力育成を目指した演習における学生のセンスに関する評価
森屋裕治	名古屋女子大学短期 大学部	学内LAN環境を活用した、情報教育の実践報告
堀内和寛	明星大学情報学部	教育用切削システムの開発
坂本徳弥	横浜市立南山田小学校	マルチメディア作品製作過程の分析
光成豊明	明星大学情報学部	教育用CGソフトウェアにおける教育効果

授業実践(2)

8月10日(日) 午後の部

川田博美	名古屋女子大学短期 大学部生活学科	習熟度別クラス編成による効果的な情報教育カリキュラム構築の実践 について
井上史子	山口大学大学院	メディアを活用した児童・生徒の主体的学習態度の育成をめざした実 証研究
林川 基治	山口大学教育学部付属 教育実践総合センター	参加実習レポート内容の分析と評価
林川 基治	山口大学教育学部付属 教育実践総合センター	音響再生の比較視聴と昔の音の感覚表現に関する一考察
村瀬孝宏	中京短期大学	PID制御理論を利用した学習支援システムにおける各パラメータ特 性
横山隆光	岐阜県教育委員会研修 管理課情報処理研修室	「楽しく学ぶ算数・数学」プロジェクト 小中高の関連を図った学習 支援
益子典文	岐阜大学総合情報メデ ィアセンター	理科学習における事例外挿法によるストリーミング学習コンテンツの 開発
村瀬康一郎	岐阜大学総合情報メデ ィアセンター	多様な通信メディアを統合利用した授業システムの検討(2)
野原 健	揖斐郡揖斐川町立揖斐 川中学校	中学生を対象とする情報モラル育成のための指導内容の検討

教育支援, 教員研修 8月9日(土) 午後の部

佐々木真理, 熊 安娜, 久世 均	京都教育大学	中国・日本間の遠隔共同授業における生徒の国際理解意識の形成
増澤文徳	岐阜県総合教育センタ ー	個人学習法による教科「情報」の実践と評価(2)
安藤忠展	東京成徳大学高等学校	教育情報化と心の動きについて
福本昌之	岐阜大学教育学部付属 中学校	ネットワークによる「校務の情報化」と「学習の情報化」
福本昌之	松山東雲女子大学	学校組織における情報技術の影響に関する調査研究
埴岡靖司	岐阜県羽島郡川島町立 川島小学校	「楽しく学ぶ算数・数学」プロジェクト Webページを活用した川島小学校における実践
沖 裕貴	山口大学大学教育セン ター	「強制連結法」の授業設計への応用
有園 格, 斎藤陽子, 若尾 佳弘	静岡文化芸術大学文化 政策学部,	テレビ番組の教育利用と著作権問題 - テレビ局・教育センター等の調査から -
藤本 光司	岐阜大学大学院 教育学研 究科カリキュラム開発専攻 宝塚市立安倉中学校	情報手段を用いた指導力向上のための教員研修の開発
赤松 辰彦	平安女学院大学	教育用画像素材を用いた教員研修の実践と展望
林 徳治	山口大学教育学部	強制連結法を利用した知識の定量化に関する研究(1)
		強制連結法によるスキーマの活性化をめざした授業設計・評価

(5) 参加申込方法

参加申込書(葉書)に必要事項をご記入の上、第19回年会実行委員会事務局まで送付して下さい。送付の際には、お手数ですが切手をお貼り下さい。お支払いは、同封の郵便振替用紙をご利用ください。期日までに申し込めない方は、当日参加扱いになります。振込みは、若干事務手続きに時間がかかるため、下記期日までとします。期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

参加申込締切 2003年7月31日(木) 必着
振込期限 2003年7月31日(木) 郵便局窓口期限

郵便振替口座番号 00970-6-260278

口座名 日本教育情報学会 第19回年会 (学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください)

参加費

- ・ 会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費4,000円
- ・ 会員(当日)・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費4,000円
論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします
- ・ 地域の方 地域の方の参加を歓迎します。地域の小中高の先生方等の参加費などは、年会実行委員会へお問合せください(メールなど)。事前に参加予約が必要です。
- ・ **論文集の郵送申込について(年会に参加されない方)**
年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。
論文集 3,500円(郵送費、事務諸経費を含む)

(6) 宿泊について

- ・ 大学近郊に宿泊施設は多数あります。宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。

(7) これからのスケジュール(予定)

論文提出締切 2003年 6月30日(木)
参加申込締切 2003年 7月31日(木)
参加費支払締切 2003年 7月31日(木)

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先: 〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番

大阪学院大学経済学部 白川研究室内

日本教育情報学会第19回年会実行委員会

Tel (06)6381-8434(代表) URL www.osaka-gu.ac.jp

メールによる問合せ: 白川雄三 (nenkai19@utc.osaka-gu.ac.jp)

***** <学情研>情報教育セミナー 2003のご案内 *****

「<学情研>情報教育セミナー 2003」が次のとおり開催されますので、ご案内いたします。
本セミナーは日本教育情報学会が後援いたします。

開催日 2003年8月6日(水) 9:30~16:30
会場 アルカディア市谷 穂高の間(東京都千代田区九段北4-2-25)
セミナー 「学情研 情報教育セミナー 2003」
の名称 - ブロードバンドの普及による情報教育の進展 -
主催 財団法人 学習ソフトウェア情報研究センター
後援(予定) 文部科学省, 全国都道府県教育委員会連合会, 東京都教育委員会, 日本教育情報学会
特別協力(予定) 株式会社日本教育新聞社
参加定員 150名
参加対象 全国の小・中・高校及び教育行政関係者, 教育関係団体の教育関係者
参加費 2,000円 ただし学情研研究会員は無料
申込〆切日 2003年7月22日(火)
申込み方法 「参加申込書」に必要事項をご記入の上, 郵送, FAXまたはE-Mailにて事務局
に送付。 参加申込書は, 学情研ホームページから入手してください。
<http://www.gakujoken.or.jp>

「学情研 情報教育セミナー 2003」実施プログラム

9:30 開会挨拶 (財)学習ソフトウェア情報研究センター 理事長 鈴木 勲
09:40~10:30 学習ソフトウェアコンクール入賞者表彰
10:30~12:10 協賛企業による学校での実践事例紹介(企業3社の後援を予定)
13:20~14:00 基調講演
「ブロードバンドの普及による情報教育の進展」
東北師範大学客員教授 芦葉 浪久
14:10~16:00 パネルディスカッション
「ブロードバンドの普及による情報教育の進展」
コーディネータ: 十文字学園女子大学教授 井口 磯夫
パネリスト: 東京都世田谷区立八幡小学校 坂井 岳志
東京都三鷹市立大沢台小学校 本間葉津子
千葉県流山市立東部中学校 中村 司
富山大学教育学部 小川 亮

問合せ・申込先 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-30-16
財団法人 学習ソフトウェア情報研究センター
「情報教育セミナー 2002」事務局
TEL: 03-3464-1980 FAX: 03-3464-2302
E-Mail: gjk@gakujoken.or.jp